



photo by BlueLabel

地方創生実践塾 in 和歌山県みなべ町

一次産業ワーケーション®

～協働がつなぐ、地域と人が共に輝く
ウェルビーイングな関係人口創出のヒント～

日本に17ある世界農業遺産のひとつに認定されている「みなべ・田辺の梅システム」。

人手不足の課題を抱える中、梅収穫作業をとおして、ワーケーターは農家さんに労働力を提供し、農家さんはワーケーターに日常では得られない体験を提供する「一次産業ワーケーション®」という解決手段を構築しています。

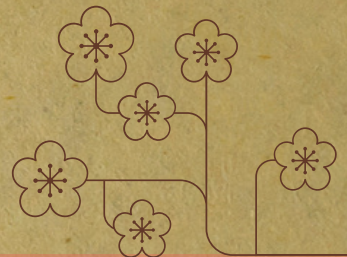
本実践塾では、日常から離れ、みなべ町の空気や梅の感触、時には雨音を感じながら作業に没入して、新たな自分の内面に気づき、向き合うことができるでしょう。一次産業ワーケーション®によって、ワーケーターと農家さん両者のウェルビーイングが高まっています。

開催日

6.11 木



6.13 土



会場

うめ振興館、37BASE、
みなべ町生涯学習センター 他

定員

25名

参加費

一般 10,000円
学生/特別参加者 5,000円

※開催地までの往復交通費・宿泊費・飲食代は別途ご負担となります。

こんなことを学べます！

- ・梅収穫作業に没入し、自分の新たな一面に気づく
- ・民間主導型公民連携のプロセスと成功のポイント
- ・地域の方々と交流しながら、地域のつながりと関係人口創に向けた取組
- ・一次産業ワーケーション®を通じた新たなまちと自身の魅力の再発見

主催

(一財) 地域活性化センター

詳細 & 申込みは裏面へ ➡

スケジュール

【6月11日(木)】

講義

フィールドワーク（うめ振興館視察）

トークセッション

交流会

【6月12日(金)】

フィールドワーク（梅収穫ワーケーション）

意見交換会

【6月13日(土)】

フィールドワーク

振り返りグループワーク

ウェルビーイングとは・・・
「心身ともに健康で社会的に良い状態」
であること！



持ち物

- ・長靴、軍手、レインコート
- ・熱中症対策ができるもの（帽子や日焼け止めなど）
- ・動きやすい服装

前回開催時の参加者の感想

「梅そのもののインパクト・魅力はもちろんですが、地域で活動している人たちも魅力的で、よいネットワークができているのを感じました。」

「地域の特性は十人十色なので、自分の地域でも、その地域に合ったやり方を住民の方々と模索して、私自身も楽しく、住民の方々も楽しくできることを一緒にやっていこうと思いました！」



photo by BlueLabel

講師の紹介



主任講師：箕浦 龍一

（地域活性化センターシニアフェロー）

元総務省職員。2021年7月に退職・独立し、フリーのコンサルタントとして、マネジメント改革、働き方改革、DX、組織変革、人材開発などの分野で全国各地の自治体研修や講演活動を行っている。2024年4月からは立教大学法学部の特任教授も務める。

ワーケーションや関係人口創出の領域では、2017年から各地域でも活動するこの分野の第一人者。



特別講師：島田 由香

（一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会 代表理事）

慶應義塾大学卒業後、パソナを経て、米国コロンビア大学大学院にて組織心理学修士号取得。2017年に株式会社YeeYを共同創業し代表取締役に就任。日本企業や社会のウェルビーイングリテラシー向上に貢献。

自身も1年の半分以上をワーケーション先で過ごすなど地域活性に情熱を燃やし、地方自治体の組織コンサルティングやワーケーションなどのコンテンツ開発支援、地域住民のウェルビーイングを高める仕組みづくりを行う。

令和7年度ふるさとづくり大賞「明日への希望賞」受賞！！

お申込み

- ◆参加いただいた方には、アーカイブ動画配信等のサービスを併せて提供します。
- ◆ご参加いただくには、事前のお申込みが必要です。
地域活性化センターのホームページ、または右の二次元コードからどうぞ。



お問い合わせ先 | 一般財団法人 地域活性化センター セミナー統括課

03-5202-6134

seminar@jcrd.jp